

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

順天堂大学が2024年の春、千葉県浦安市に薬学部を開設する計画を公表しました。また、今年の春に和歌山県立医科大学に薬学部が開設され、国公立のため偏差値が60程度と高くなるのではないかと予想したものの、河合塾の公表では52にとどまりました。

今年の春に薬学部ができた湘南医療大学では、130人の定員に対して希望者が111人。入学者は3分の1程度となり、定員割れとなっていました。薬学部全体でも定員割れを起こした大学は3分の1となりましたが、それでもまだ薬学部を増やす計画が進んでいるといいます。

こうした薬学部の開設ラッシュが続く中、MRやCROなどで働いていた人が、医療現場に転職するケースが増えています。これまで、現場では薬剤師が足りないという声が多く挙がっていましたが、新型コロナウイルスによって「薬剤師はもう充足しています」という声に変わりました。さらに、採用側では「転職する人は必要ありません。新入社員は絞ります」とする意見も挙がっているといいます。

他の業種に比べると、まだ恵まれている薬剤師ですが、薬剤師免許にあぐらをかき時代は終わりました。「転職先はいくらでもある」という考えを見直し、今ある状況をどのように良くするのか、どのように周囲の人たちの役に立てるのかを考えるスタンスにシフトしましょう。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子